

令和2年度認定

【計画名： 和倉温泉お祭り会館拠点計画 】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R2			R3			R4			R5		R6	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績
来館者の満足度(外国人+日本人：指標)	3.5	4.3	123%	3.8	4.5	118%	4.0	4.3	108%	4.2		4.4	
全入場者数(日本人+外国人：人)	20,000	17,385	87%	22,000	10,416	47%	26,000	13,444	52%	34,000		50,000	
旅館からの来場者数(千人)	16	4.5	28%	17.6	3.7	21%	20.8	2.8	13%	27.2		40	
売店グッズ等売上額(入館料収入以外：千円)	4,500	2,141	48%	6,000	2,713	45%	8,000	3,563	45%	10,000		12,000	
外国人入館者人数(千人)	0.05	0.0	0%	2.2	0.0	0%	2.6	0.2	8%	3.4		5.0	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <p>令和4年度前半までは新型コロナウイルス感染症が拡大、後半においては行動制限が緩和されたことにより、観光需要が高まるとともに、国際交流再開の動きが活発となり、通年では不安定な一年となった。</p> <p>このような状況の中、和倉温泉の浴客者数はコロナ禍前と比較すると約8割まで回復したことにより、和倉温泉お祭り会館の入館者数は前年度を上回り、インバウンドの入館者も令和4年度後半より見え始めたことは、今後の動きにおいてプラスの要因となっている。</p> <p>反面、国内での団体客の動きは依然として悪く、新型コロナウイルス感染症の拡大により、団体のキャンセルが多く発生した。</p> <p>(評価)</p> <p>全体的に目標値をクリアすることは出来なかったが、文化芸術振興費補助金により、当館の魅力度及びスペックは向上している。</p> <p>また、入館者数の増につながる取組内容が多かったため、昨年度の入館者数を超えることができたと感じている。</p> <p>ホスピタリティあふれる職員対応、様々な企画イベント及び企画展により、来訪者の満足度は高いポイントを維持している。</p>
--

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R2	R3	R4	R5	事業類型ごとの実績額
1-①	ミニ「奉燈」担ぎ体験整備事業	体験プログラム用ミニ奉燈作成	—	—		3.3百万円
1-②	期間限定プログラム太鼓実演実施事業	実演用太鼓購入・ガイドブック作成		—		
1-③	祭り準備体験教室運営事業	—	祭り道具づくり体験教室を実施	—		
1-④	能登の祭りシンポジウム	—	—	祭りの持続可能性に関するディスカッション等を実施		
2-①	七尾城VRソフト開発設置	—	—	—		6.4百万円
2-②	多言語解説検証事業	—	音声ガイドネイティブチェック実施	—		
2-③	視覚訴求強化事業	火祭3Dホログラム設置検討業務委託	視覚訴求強化ソフト検討開発事業	—		
			機械(音響・照明)設置工事	—		
3-①	観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業	—	—	—		—
3-②	夜間早朝における時間市場の創出事業	—	—	—		
4-①	売店高度化事業	物販ブース改装調査・商品開発	—	—		1.4百万円
4-②	売店商品高度化・開発事業	—	—	—		
5-①	パンフレット作成事業	—	—	—		1.0百万円
5-②	観光案内所出展広報事業	—	—	—		
5-③	館内紹介バーチャルツアー	—	—	米国旅行会社に対してオンラインでのウェビナーを実施		
5-④	観光列車連携広域事業	—	—	観光列車と連動した特別切符開発等を実施		
			—	観光路線バス「わくライナー」と連動したセットプランの開発を実施		
6-①	向田の火祭再現3Dホログラム設置事業	3Dホログラムの設置	—	—		2.7百万円
6-②	祭り実況常時放映プロジェクター設置事業	祭り映像投影用モニター設置	—	—		
6-③	売店高度化調査事業に基づく売店整備事業	物販ブース改装工事	—	—		
各年度ごとの実績額→		6.5百万円	6.6百万円	1.7百万円		14.8百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業1-①により整備した担ぎ体験用「ミニ奉燈」は、新型コロナウイルス感染症5類への移行に伴い、体験プログラムとして活用できるようになった。 ・事業1-③の祭り準備体験教室は祭りに使われる小道具づくりを継続して、ワークショップ的に体験教室を実施している。開発した体験教室は、観光ショーケース等、幅広い場所においてアレンジして開催し、七尾市の祭り文化を発信することができている。 ・事業1-④により実施した能登の祭りシンポジウムにおいては、祭りの運営方法を見直した先進事例地区の方を迎え、祭りの持続可能性に関するディスカッションなどを行い、共通課題を提議しながら課題解決に向けたワークショップの場を設けることができ、大変好評な意見をもらった。祭り関係者同士のネットワークを構築することができた。次回は輪島キリコ会館で開催し、施設同士の連携を強化し、互いに入館者数を増やす取組を実施していければと考えている。 ・事業5-④の観光列車と連動した特別切符開発等においては、他のお客様の席もあることから和倉温泉お祭り会館用の特別切符は開発できないというJR側の意見もあり難航した経緯がある。旅行会社と連携し観光列車を活用した旅行プランの造成に切り替え、夏休みの親子をターゲットに誘客を図ったが、新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、大幅に伸び悩んでしまった。 ・事業6-③により改装した物販ブースにおいては、陳列箇所が増えたことを活用し、変化を加えながら陳列・POPの工夫、新商品開発などを繰り返し実施。結果、ポストコロナ期に入り、人流の動きも戻りつつある中、売り上げは徐々に増加傾向となっている。団体客の動きが活発化すれば、売り上げは伸びるのではと推測している。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は計画どおり進めることができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、オンシーズンに実施する事業には大きな影響があった。 ・事業5-③の館内紹介バーチャルツアーにおいては、能登の祭りを知らなかった、面白いという意見があった。海外の旅行会社の意見を聞くことができたので、その意見を参考にゆっくりできる行程・祭りのイベントカレンダーなどを提案・提供していくなどフォローアップを行っていく。 ・事業5-④で開発した観光路線バス「わくライナー」と連動したセットプランの開発については、和倉温泉3旅館の協力を得て、継続した商品として効果を得ることができている。

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	和倉温泉お祭り会館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社ツアー造成担当者、オピニオンリーダー層向けに、祭りの歴史や文化背景などを掲載した解説パンフレットを作成。 ・向田の火祭の模型を利用し、プロジェクター効果により、模型下部から火が燃え上がる映像を投影し、ガイドの説明を加えることで、祭りの紹介・歴史を伝えることができる整備を実施。 ・祭りの高揚する感覚そのものを来館者が追体験できるよう、祭り会館展示ホール空間全体を活用し、音と映像により祭り空間の中に居るような錯覚を起こさせる演出空間の整備を行った。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを活用して、日・英・中国語（簡体・繁体）が選択できる音声ガイドを有している。 音声ガイドの情報を詰め込みすぎでないか、簡単な語源と分かりやすい表現を用いているかなどの確認を行った。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・当館で整備されている音声ガイドの有効性などを確認するために、簡単な言葉、分かりやすい表現となっているか、ネイティブチェックを実施した。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> ・祭りの準備作業の一部を体験してもらうため、地元の祭り関係者の協力を得て、ワークショップ的に体験できる「ざい」づくり体験教室などを実施。（旅行商品の造成に繋がっている） ・地元祭関係者の協力を得て、祭りの醍醐味を体感していただけるよう、担ぎ体験用ミニ奉燈を制作。 ・旅行会社と連携し、観光列車「花嫁のれん」を活用した旅行プランを開発。観光列車イベントスペースにおいて、当館スタッフが乗車し、各お祭りの紹介や祭り道具の体験教室を車両内で実施。 ・和倉温泉旅館との日帰りプランとお祭り会館入館券がセットになったプランを開発した。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		<ul style="list-style-type: none"> ・和倉温泉お祭り会館独自のアンケート調査を実施し、整理・収集を行いながら魅力ある館の運営に努めている。 分析した結果、課題を整理し、少しでもお客様の声に反映できるよう改善に努めている。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業における計画目標を基に、PDCAサイクルを行い、来館者増に繋がる施策に繋げている。

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
(一社)ななお・なかのとDMO	<ul style="list-style-type: none"> ・和倉温泉お祭り会館の魅力度、満足度は高評価を得ている。 本事業を通して、和倉温泉お祭り会館への誘客を図り、魅力度アップを図ってきた成果といえる。 ・ポストコロナ期に入り、国際交流活動が活発化してきているので、インバウンド及び団体の誘客活動を展開して、入館者数の増に繋げていくことが必要。

⑦今後の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・祭り準備体験教室は当館オリジナルの観光商品として、旅行会社などのエージェンツなどへプロモーション活動を継続して、入館者数及び収益の増に繋げていく。 ※いしかわ百万石文化祭2023の市町実施事業として、体験教室のワークショップを開催していく。 ・団体客の誘客促進を図る。 ・能登の里山里海コーナーなど新たな物販ブース設置し、能登の魅力を食を通じて周知していく。 ・和倉温泉お祭り会館の楽しみ方のPVを作成し、より具体的に周知・PRを行っていく。 また、魅力ある企画展・イベントを実施し、和倉温泉宿泊者及び市内・近隣の方々の誘客を図る。 ・SNSを活用した情報発信の強化を図る。 ・和倉温泉お祭り会館の魅力を把握するため、来館者に対してのアンケート調査を工夫し、来館者のニーズを把握できるよう調査を継続して実施していく。
--